

第2回肥料の流通合理化に関する検討会 議事概要

1. 日時：令和2年3月26日（木）15:00～16:45
2. 場所：農林水産省生産局第1会議室
3. 出席委員（敬称略）：横本耕一郎、梶田太三郎（吉田正宏委員代理）、富田健司、山森章二（座長）、齋藤一志、鈴木良典
4. 概要
 - ・ 事務局から作業部会（1月から3月までに3回実施）における検討経過等について報告し、「肥料の流通合理化に関する検討会 中間とりまとめ報告書（案）」（資料1及び資料2）の説明の後、意見交換を実施。中間とりまとめ報告書については、各委員の意見を踏まえて事務局で修正案を作成し、各委員の了承後に農林水産省ホームページで公開することとされた。

【意見交換における主な発言】

- ・ 中小の製造事業者の配送で多く利用されているのが木製のワンウェイパレットであるが、その廃棄コストは末端の農家や小売事業者が負担しており、負担が重い。【齋藤委員】
- ・ レンタルパレットは、肥料の場合は倉庫で保管している期間が長く、肥料の単価も安いことからコスト的に現実的ではない。また、レンタルパレットの洗浄や回収の経費についてもコスト高の要因になる。一方、レンタルパレットはレンタル業者が洗浄してくれるが、肥料一貫パレチゼーション体系（F I P）の場合は誰が洗浄するかというルールも考えておく必要があるだろう。【齋藤委員】
- ・ 全農・JAグループでは、現在もパレット輸送や満車輸送に向けて取り組んでいるが、その現状は多種多様である。

将来のビジョンとして、F I Pやプラスチックパレットの統一規格を示して意識の向上を図ることは大事だが、工夫を重ねた現場の様々な取組を踏まえることも重要。統一規格パレットの購入を強いるような性急な進め方をすれば、現場が対応できないおそれもあり、中間とりまとめ報告書でも配慮して欲しい。

また、「今後の進め方」について、検討会や作業部会の継続設置には賛同するが、ここでは各事業者が前向きに加速できるような検討を継続して行うことが重要であり、進捗管理という用語は適切ではないと考える。【富田委員】
- ・ F I Pではプラスチック製のパレットを統一規格とする方向だが、船で運搬する場合はパレットを5～6段重ねて積んでおり、プラスチック製の場合、下段のパレットが破損することが懸念される。【横本委員】
- ・ F I Pの構想では製造事業者がパレットを整備するが、地方の中小事業者は薄利で事業を行っており、パレットを大量に購入することは難しい。このため、例えば、プラスチック製パレットと木製パレットの調達価格差を補助するなど国が

ら何らかの助成措置を講じることはできないか。

また、国から行政組織を通じて事業者に対して商慣習の見直し等について文書通達を行うなど指導力を発揮いただきたいと考えており、「国」が果たすべき役割等についても記述いただきたい。【富田委員】

- ・ プラスチック製パレットは他産業でも汎用的に使われており、木製パレットの方が肥料専用と感ずるので、回収率が高まるのではないかと。【齋藤委員】
- ・ 過去に代表をしていたメーカーで、木質パレットの補修作業中に従業員が大怪我をしたことがあり、それを契機に、レンタルパレットにするか、新たに購入する場合はプラスチック製パレットとしたところ。【山森委員】
- ・ パレット管理システムを導入するには、パレットにタグを付ける必要があるが、木製パレットの場合はタグ添付のため加工が必要になるなど扱いが難しいという話もあったと思う。このような点も踏まえてパレットの材質は検討すべきではないか。【梶田委員代理】
- ・ 現在は農家の高齢化などもあり 15kg 袋のような包装形態も増えている。今後農家の大規模化が進めば、湿度等の課題もあるがフレコンの需要が増えてくると思う。それを踏まえた流通のあり方も将来的に検討してほしい。【齋藤委員】
- ・ F I P 等の実証試験を行う際には、粉じん等が多い肥料の製造現場で管理システムのタグが読み取れるか、耐用年数はどの位なのか等についても確認が必要だろう。また、富田委員と同様、パレット購入に係る初期投資を軽減する国の支援についても検討いただきたい。【梶田委員代理】
- ・ 約 30 年前にも一貫パレチゼーションの検討を行ったと思う。その当時はシートパレットの導入を進めたが、プッシュプルフォークリフトの扱いが難しい、荷受側の意識が高まらない等の問題で、現場にはなかなか浸透しなかった。これまでの経過を確認しておくことも大事だと思う。
一貫パレチゼーションの取組で大事なものは、関係者がそれぞれメリットを享受すること。F I P では管理システムの浸透が鍵を握るのではないかと。【横本委員】
- ・ 本日の御意見を踏まえ、中間取りまとめ報告書（案）を修正し、議事録と併せて各委員に確認いただいた後に、農林水産省ホームページにおいて、本日使用した資料とともに公開することとしてよいかと。【事務局】（→ 一同、了。）

（以上）